

もうすっかりあすれた

グラッ。部屋がゆれ、人形がおちる。私はあわててつくえの下にもぐった。ママが私の名をよんでいる。おさまってから一階へおりました。部屋がどうなっていたか分からない。ただ、ママがあわてているのはたしかで、私も何もできなかつた。なのに、パパはマイペースに電話に答えていたらしい。私たちほ外に出た。広い所に行ったら、ゆれはおさまらないう。そんなところだったのにお兄ちゃんときたら、地面にすあり「地しんがくる」と言っていて、何をやっていったんだが。けれど、この生がいで、また地しんが来たら、地しんをうけるのが初めての人をたすけたり、ひなんさせたり、元気づけたりしてあげたいです。いまは、もうすっかり地しんのことをわすれて、友だちと、家ぞくと、クラスのみんなと、案しんでくらししています。